

# 広域避難の促進



◆被災者の災害関連死を防ぎ、生活環境の改善を図るため、1.5次、2次避難所への移送を実施

## <1.5次避難所>

受入状況【1/31（水）時点】

294人（累計1,299人）



いしかわ総合スポーツセンター  
メインアリーナ（1/8開設）

## <2次避難所>

受入状況【1/31（水）時点】

211施設、4,792人（累計5,581人）



石川県産業展示館2号館（1/13開設）



小松総合体育館（1/18開設）

※受入可能数：1,100施設、30,988人/日

◆賃貸型応急住宅（みなし仮設）、公営住宅への入居を促進

<賃貸型応急住宅（みなし仮設）> 1,194戸の入居が決定済み

<公営住宅> （県内）251戸の入居が決定済み  
（県外）247戸の入居が決定済み

現在、1,692戸入居

# 1次避難所の状況

発災直後と比較すると、1次避難所は集約され、避難者数も約1/4に減少

【1/4（木）時点】 ※避難者数ピーク時

市町名	開設数（箇所）	避難者数（人）
金沢市	10	84
七尾市	32	3,286
小松市	1	11
輪島市	138	11,681
珠洲市	21	6,981
加賀市	2	16
羽咋市	7	198
かほく市	3	18
白山市	-	-
能美市	-	-
野々市市	-	-
川北町	-	-
津幡町	4	73
内灘町	6	110
志賀町	15	1,959
宝達志水町	2	107
中能登町	10	329
穴水町	50	3,815
能登町	63	5,505
計	364	34,173

【1/31（水）時点】

市町名	開設数（箇所）	避難者数（人）	備考
金沢市	3	14	ほかに他市町からの広域避難者 439人
七尾市	36	1,172	
小松市	-	-	ほかに他市町からの広域避難者 4人
輪島市	87	2,833	
珠洲市	44	1,520	
加賀市	-	-	
羽咋市	1	41	ほかに他市町からの広域避難者 27人
かほく市	1	20	
白山市	-	-	ほかに他市町からの広域避難者 374人
能美市	-	-	ほかに他市町からの広域避難者 31人
野々市市	-	-	ほかに他市町からの広域避難者 93人
川北町	-	-	
津幡町	1	15	ほかに他市町からの広域避難者 10人
内灘町	2	81	
志賀町	31	957	
宝達志水町	1	8	
中能登町	1	25	
穴水町	31	936	
能登町	49	957	
計	288	8,579	ほかに他市町からの広域避難者 978人 ※

※額谷ふれあい体育館（金沢市）や松任総合運動公園（白山市）などで集落単位で受け入れた人数含む

# 応急仮設住宅の建設



今後、3月末までに約3,000戸を着工予定（入居可能 約1,300戸）

（1月末実績）

	七尾市	輪島市	珠州市	内灘町	志賀町	穴水町	能登町	合計
着工戸数	180戸	548戸	303戸	23戸	20戸	76戸	98戸	1,248戸

	従来型	まちづくり型（熊本モデル）	ふるさと回帰型（石川モデル）
目的	<p>迅速かつ大量に供給し、避難所生活を早期解消</p> 	<p>里山里海景観に配慮した新たなまちを整備</p> 	<p>地元集落を離れ、みなし仮設等で生活する被災者がふるさとに回帰</p> 
構造	プレハブ	木造（長屋）	木造（戸建風）

# お住まい確保に係る全体の見通し

被災者の皆さんに、次のお住まいについての選択肢をお示ししながら、お住まい確保に係る全体の見通しを立てていかなければならないフェーズ

## (参考) 申込状況

応急仮設住宅	賃貸型応急住宅（みなし仮設）	公営住宅
6, 933戸 (内訳) 輪島市4,475戸、 珠洲市1,478戸、 穴水町480戸、能登町500戸 ※その他の市町は申込開始前	1, 194戸 ※入居決定済み戸数と同じ	(県内) 251戸 (県外) 247戸 ※入居決定済み戸数と同じ

## <支援員の宿泊場所の確保>

- これまでも、国などと連携し、宿泊施設だけでなく、キャンピングカーやトレーラーハウス、学校や公共施設の空きスペースを活用するなど、宿泊場所の確保を進めてきた
- 今後、本格的な復旧・復興に向け、国・自治体の応援職員や事業者はもとより、ボランティア・NPOなど、さらに多くの支援員が現地に入る必要があることから、引き続き、宿泊場所の確保に努めていく

## 【現 状】

### ◎ 道路

42路線87箇所通行止め (県管理道路)

- のと里山海道をはじめ、国道249号、珠洲道路、七尾輪島線など奥能登へのアクセスルートが遮断



1/4には、奥能登4市町へのアクセスルートを確保  
順次、孤立集落解消に向けた道路啓開を実施  
⇒ **引き続き、幹線道路から生活道路まで早期復旧に取り組む**  
※国道249号などは、国の直轄権限代行により実施

### ◎ 水

発災直後、約11万戸が断水



未だに、**約40,890戸で断水が継続**

(内訳) 七尾市 約14,600戸、輪島市 約10,000戸、珠洲市 約4,800戸  
羽咋市 約60戸、内灘町 約630戸、志賀町 約3,800戸、  
穴水町 約2,000戸、能登町 約5,000戸

⇒ **2月末～3月末に復旧見込み** (七尾市・珠洲市の一部地域は4月以降)

### ◎ 電気

発災直後、約4万戸が停電



一部立入困難地区を除き、**概ね停電は復旧**

- 立入困難な箇所については、道路等の作業現場へのアクセス改善に応じて、順次復旧作業を進める

### ◎ 通信

発災直後は、8市町において  
支障エリアが発生



一部立入困難地区を除き、**応急復旧が概ね終了**

- 6市町の通信可能なエリアは、被災前の96%超 (1/27時点) まで回復
- 立入困難な箇所については、道路啓開後原則3日以内に応急復旧予定

- 6市町の通信可能なエリアは、被災前の20～30%まで減少



## 理念

○必ず能登へ戻す

○単なる復旧にとどめず、人口減少など課題を解決しつつ、能登ブランドをより一層高める「創造的復興」を目指す



## 原則

○被災地の住民・事業者の声を聞く

○人口減少などこれまでの課題の解決

○若い世代の力の活用

○民間・外部の力の活用

## 創造的復興 6つの柱

1. インフラの早期復旧・強靱化

2. 農林水産業、伝統産業、観光産業など能登の特色ある生業(なりわい)の再建

3. 暮らしと地域コミュニティの再建

4. 危機管理、安全・安心の充実

5. 今回の地震の教訓を踏まえた災害に強い地域づくり

6. 能登ブランド強化に向けた創造的復興リーディングプロジェクトの創出



## 《現状》

発災後、県内の飲食店や観光業者、県産品の製造・販売を行う事業者の売り上げが大幅に減少するなどの深刻な影響を受けている。

## 《プロジェクトの概要》

名称『能登のために、石川のために 応援消費おねがいプロジェクト』

能登産、石川県産の商品を扱う飲食店や販売店などにおいて、県ホームページから無料でダウンロードしたロゴのステッカーを、店舗で掲出、商品へ貼付など自由に活用いただき、消費による応援の機運を高める。（2月1日開始）



県ホームページ <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/saigai/202401jishin-ouen.html>

## 《ロゴのデザイン》

- ハート型の漆器をイメージした「JAPAN HEART」(JAPAN=漆の英語表記)
- 復興を応援する気持ち、復興に向けてがんばる気持ち、そして、感謝の気持ちなど、“みんなの心”を込めている。
- ハートの赤色は漆器の赤、石川県地図の金色は金箔をイメージ



プロジェクトロゴ

## 《ロゴを使ったステッカー：4種類》

- 飲食店や販売店などで使用



- 個人の方が SNS等で使用



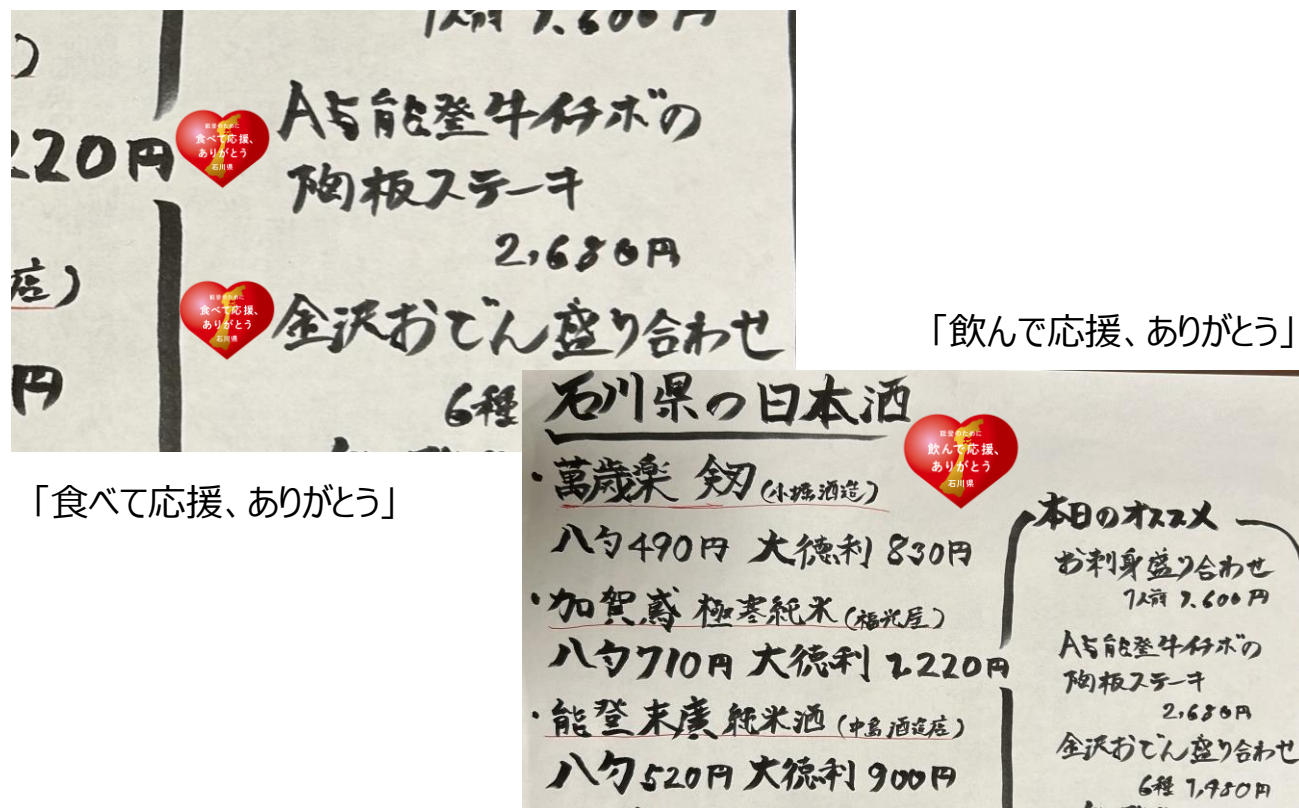
## 《ステッカーの使用例（飲食店の場合）》

### ① 店舗の外や内に掲出



「このお店は能登を応援しています」

### ② メニューに使用





## 《ステッカーの使用例（販売店の場合）》

### ③店頭で掲出



「買って応援、ありがとう」

### ④チラシやカタログなどに使用



「買って応援、ありがとう」

「このお店は能登を  
応援しています」

